



平田 要

① 生涯学習施設整備から ② 地域の農業を守る地域計画

生涯学習施設整備から

問 生涯学習施設整備の進捗よく状況と今後の整備予定を問う。

答 旧久佐々小学校体育館劣化診断等調査業務と関係法令の調査中で、本年12月に結果が出る。結果を踏まえて、整備に向けて取り組んでいく。

今後、住民や子どもへのアンケート等を行い、広く意見を募り反映するとともに、主な機能等を含め基本構想から基本設計、建設へ進めていく。

問 図書室の充実の他、施設整備の構想を問う。

答 学習支援や世代間交流の場、資料館的な展示等、複合的な施設を考えている。

問 町で唯一の国の重要文化財、今養寺の仏像「大

日如来坐像」を常設展示し、大切な文化財を後世に伝えることについての考えを問う。

答 所有者から相談を受け、大阪市立美術館に委託されているところである。文化財保護法の中で、どこで展示していくのが適切かを含め相談と対応ができたかと考える。

問 公益農業法人等の設立と地域計画の進め方を問う。

答 農業公社は農業法人へと転換されているのが近年の動向である。本町では、地域を支える多様な経営体への支援を行うとともに、地域の中心経営体となる農業法人の設立の取組みを準備組織（仮）より支援すること

で法人化を促進していく。



地域の農業を守る
地域計画

問 地域計画アンケート結果から見えてきた現状分析を問う。

結果から見えてきた現状分析を問う。



井上 加奈子

① 徒歩下校の子どもたちを 熱中症から守るために ② 児童向け遊具の設置について

登下校時の熱中症対策

問 夏季限定のスクールバス運行地域の拡大について問う。

答 各路線の乗車率を勘案すると、現状ではスクールバスの運行範囲を拡大することは難しい。

問 令和2年度はコロナの影響で8月に授業があり、徒歩圏にもバスを運行した。運行した理由を問う。

答 炎天下の徒歩下校による熱中症のリスクを解消するため、臨時的に下校便を走らせた。

問 暑さ指数31以上の日を数えると、令和2年より令和4～5年の方が暑いことが分かる。実施できないのか。

答 バス・運転手の確保や、費用が発生する。必

要な財源の裏づけがなく、実行は難しいと考え

問 昨年からの夏季限定でスクールバス運行範囲を拡大した自治体がある。本町も危機感を持ち、子どもを守るためにかけるべきお金はかけるべきである。認識を問う。

答 熱中症は直接命に関わる問題である。児童生徒・保護者に情報を提供し、日頃から危機意識を持つように指導して、学校とともに検討していきたい。

問 子ども、保護者の要望に合わせて遊具を設置してほしい。そしてインクルーシブ遊具など、遊具の内容について議論をしたいが、どうか。

答 遊具の安全確保に関する指針や、いただいた意見も踏まえて検討する。



憩いの広場の整備

問 事業スケジュールを問う。

答 令和7年度に詳細設計、令和8年度に整備工事を行う予定である。

問 児童向け遊具を設置しない方針になった経緯を問う。

答 子どもの遊び場として、芝生広場を計画した。

問 子ども、保護者の要望に合わせて遊具を設置してほしい。そしてインクルーシブ遊具など、遊具の内容について議論をしたいが、どうか。

答 遊具の安全確保に関する指針や、いただいた意見も踏まえて検討する。